



# こうまだより

第570号  
令和元年12月20日

園長 高麗正夫

## 年賀状

年の瀬も迫まり、後11日で令和2年元日となる。思い起こせば、今年は平成から令和に変遷した記念すべき年であった。昭和、平成、令和と移り、令和はこれからも平和で安定し穏やかな元号であってほしいと願っている。

元日になると年賀状が届き嬉しいものであるが、年賀状を書いて出すとなると一苦勞のようである。最近は年賀状に代わりメールやラインで「あけましておめでとうございます」と届くようである。時代と共にそれも新年のあいさつの一つかもしれない。

私は毎年卒園した小学6年生まで年賀状を書いている。以前は毛筆で宛て名を書いていたが万年筆に代えた。一人ひとり宛て名を書いていると幼稚園のときの顔が思い出され、ペンが止まることもある。小学生たちへのメッセージを手書きで書けばよいのであるが枚数が多いため印刷にしている。昨年から忙しいことと時間がないため、年賀状は小学3年生まで出すことにした。また、小学3年生までにしたのは、高学年になると過去を振り返るのではなく未来を見据えてほしいという願いもある。年賀状を書いて出した後、1割くらいが「転居のため」ということで戻ってくるのが残念である。

元日には担任の先生から年賀状が届くので楽しみにしてほしい。

12月7日(土)は年少親子大根抜きで、子どもが大根を抜いて、保護者が大根を持って幼稚園に帰って来た。2回目の大根抜きは年少と年長が手を繋いで農園へ行き大根を抜いた。年少も年長も大根をビニール袋に入れ、背おって幼稚園まで持ち帰った。もし保護者が付いていたら、同じように保護者が大根を持ってあげていたと思う。年少の子どもたちは自分が抜いた大根を自分の手で幼稚園まで、持ち帰るんだという強い意志で重い大根を背負って来たのだろう。また誰一人「先生持って」言わず、全員が自分の力で持ち帰った。それは、子ども同士の育ち合いで「子どもは環境の中で育つ」という一コマであった。

私が最近感動した風景でした。

最後になりますが、一年間こうま幼稚園の教育活動にご理解とご協力に感謝申し上げます。良い年をお迎え下さい。

## 冬休みのにこにこクラブ利用について

☆今年度は、にこにこクラブ利用者が大勢います。

申し込みは終了していますので、電話などでの申し込みはご遠慮ください。

☆おたより帳は必ず持参願います。

【緊急連絡先の記載をお願い致します。(母親の勤務先も必ず)】

☆お預かりは5分前からです。

お迎えが5分以上遅れた場合は、延長料金を頂きます。

